

耐震改修工事の事例紹介

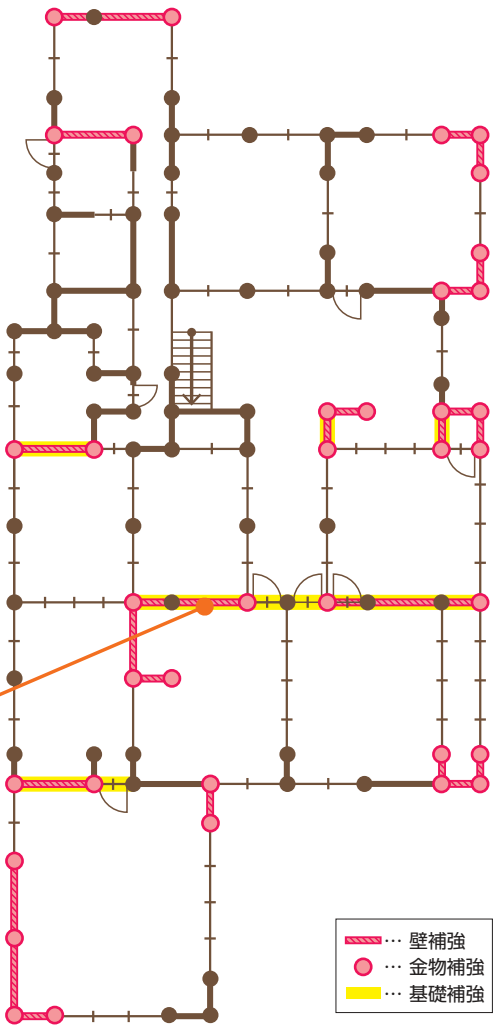
耐震改修は、構造用合板により強い壁を増やしたり、柱や梁の接合部を金物を使って補強などの工事を行い、地震に強い住まいにするものです。壁や床、天井を壊さず補強でき、安価で迅速な対応が可能となる低コスト工法と呼ばれるものもあります。

ここでは実際に耐震改修した住宅の事例を紹介します。

事例1 田の字型間取りの改修事例



Point 壁が少ない部分にバランスよく補強壁を配置する



- 建 物 概 要
- ・工事費：450万円(補助金 200万円)
 - ・評 点：第一段階0.70(改修前0.16)
 - ・規 模：木造2階建 250㎡
 - ・建築年：S44

※工事費は改修当時の金額です。補助金の額は、市町によって異なります。
※耐震性能を示す評点1.0が「建築基準法で定める最低限の耐震性能レベルと同程度」と言われています。
※全面的な耐震改修が困難な場合、二度に分けて(段階的に)改修を行う段階的耐震改修があります。

事例2 外部補強型の改修事例

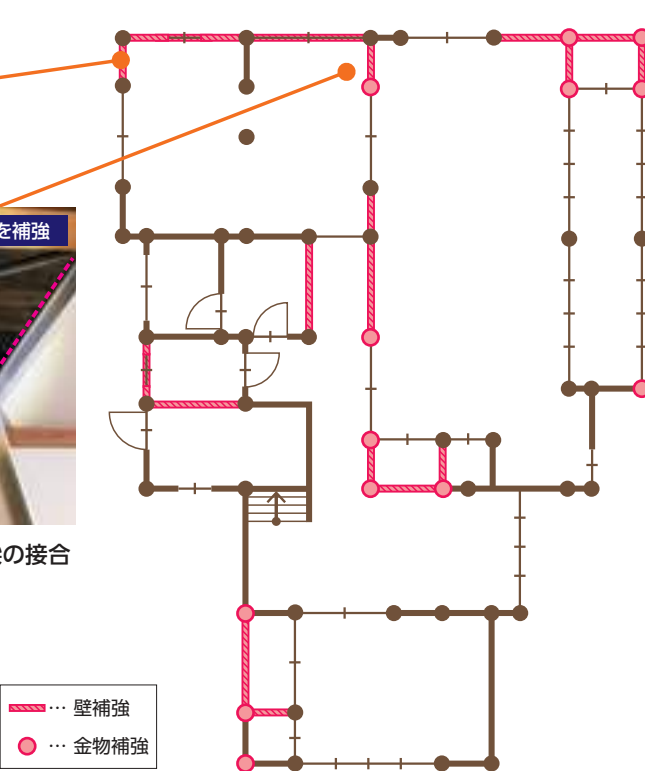


Point 外部から補強し、壁や窓を壊さずに補強する

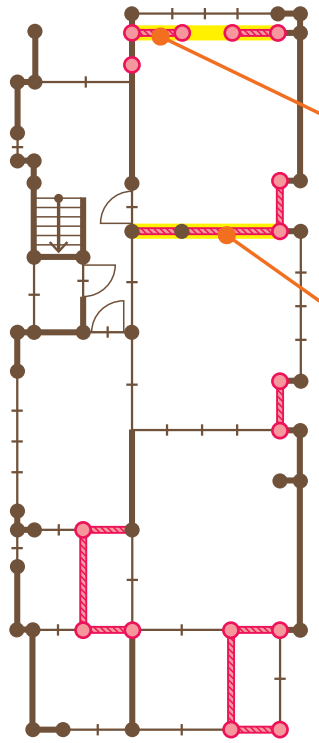


Point 天井点検口を設けて、柱と梁の接合部を金物で補強する

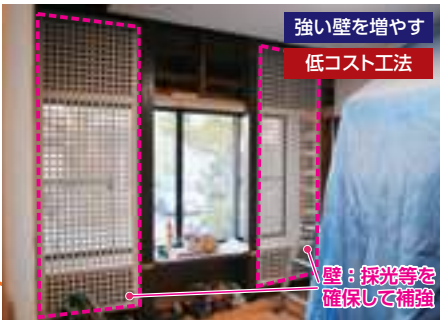
- 建 物 概 要
- ・工事費：289万円(補助金 200万円)
 - ・評 点：改修後1.00(改修前0.30)
 - ・規 模：木造2階建 147㎡
 - ・建築年：S54



事例3 通風・採光重視型の改修事例



- 建 物 概 要
- ・工事費：253万円(補助金 200万円)
 - ・評 点：改修後1.05(改修前0.09)
 - ・規 模：木造2階建 83㎡
 - ・建築年：S46



Point 通風や採光を確保した耐力壁による補強を実現する



Point 基礎の補強は部分的に実施し、必要最低限とする